



一般社団法人 日本病理学会
〒113-0034
東京都文京区湯島 1-2-5
聖堂前ビル 7 階
TEL: 03-6206-9070
FAX: 03-6206-9077
E-mail: jsp-admin@umin.ac.jp
http://pathology.or.jp

一般社団法人日本病理学会

第 401 号

令和 3 年 (2021 年) 9 月刊

1. 第 67 回日本病理学会秋期特別総会 開催形式変更のお知らせ

第 67 回日本病理学会秋期特別総会 (岡山) は、学会終了後にオンデマンド配信を行うこととなりました。

【開催形式】

ハイブリッド開催 (現地開催+オンデマンド配信)

※一部セッションとポスターセッションは現地開催のみ。

【開催会期】

現地開催: 2021 年 11 月 4 日 (木)・5 日 (金)

オンデマンド配信:

2021 年 12 月 11 日 (土) ~ 2021 年 12 月 31 日 (金)

詳細は総会ホームページをご参照ください。

<https://kwcs.jp/jsp2021/>

2. 日本病理学会誌第 110 巻 2 号 (学会抄録号) について

① 標記学会抄録集を会員向けに公開いたしました。

病理情報ネットワークセンター

<https://e-learning.pathology.or.jp/login/index.php>

(UMIN-ID とパスワードが必要です)

会員システム内よりダウンロード

<https://member.pathology.or.jp/product/Cmn/WapCmn01P01.aspx>

(会員番号とパスワードが必要です)

※現在両システムの ID とパスワードを統合する SSO (シングルサインオン) の導入準備中です。

② 冊子体 (印刷物) 抄録集は有料となります。

会員 1 冊 ¥1,000- 非会員 同 ¥3,000-

③ 冊子体の郵送送付を希望の方は下記に従いお申し込みください。

1) 申し込み・問い合わせ先

日本病理学会事務局

E-mail jsp-admin@umin.ac.jp

2) 「日本病理学会誌 110 巻 2 号購入希望」と件名に明記の上、以下の情報を e-mail にてお送り下さい。

1. 会員番号 (非会員の場合はその旨を記載)

2. 氏名

3. 所属

4. 冊数

5. 送付先 ※会員は原則学会登録住所宛となりますので不要です。

3) お支払い 冊子に郵便振替用紙を同封しますので、到着から 2 週間以内に郵便局よりお振り込み下さい。請求書払等を希望される場合はその旨、お申し込み時にお知らせ下さい。

4) 発送時期 10 月上旬頃より順次発送予定です。大会の事前送付をご希望の場合は、10 月 23 日までにお申し込み下さい。

3. 2021 年英国病理学会参加報告

2021 年 7 月 6 日 ~ 8 日にオンラインで開催された英国病理学会学術集会 (マンチェスター) に参加した研究者から報告書が届きました。

1) シニア研究者 増田しのぶ理事 (日本大学)

Manchester Pathology 2021 参加報告

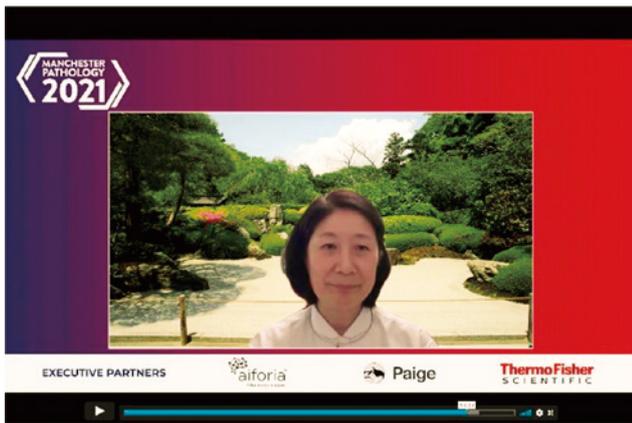
日本大学医学部病態病理学系腫瘍病理学分野

増田しのぶ

British division of IAP と英国病理学会との合同開催による Manchester Pathology 2021 (July 6-8) に、英国病理学会から招聘された日本病理学会の病理医 (シニア) として参加しました。昨年からの COVID19 世界的大流行により、すべてがオンラインでの運営で、今後の学会運営の参考になる点もあるかと思っておりますのでご紹介いたします。

演者はあらかじめ Zoom 録画ファイルを mp4 ファイル形式で学会運営事務局に送付します。座長も演者もすべてオンライン参加であり、専門の技術者がサポートしていました。

ポスターも口演も録画を流し、その後リアルタイムで質疑応答が行われました。質疑応答には、学生教育などで教室全体を小グループに振り分けるときに利用する Zoom の break out 機能を、逆に利用している点が興味深かったです。つまり、座長、演者はあらかじめ green room という small group に隔離されており、時間になると、学会員が参加する Zoom 広場に送り出されました。質問は質疑応答が始まる時間のまえに、あらかじめオンライン上で受けつけられており、座長がまとめて質問する、というスタイルでした。これらの画像はその後、オンデマンド方式で閲覧可能となっています。従来の発表と異なり、一定期間オン



デマンド方式で配信になりますので、著作権に配慮したスライド作成や、録画作業に手間がかかりました。

学会のプログラムは、日本病理学会総会にくらべると小規模でしたが、COVID19に関するセッションや、next generation sequence や人工知能などトピックスに関するセッションが大きく取り上げられているのが印象的でした。わたくしが参加した乳癌のセッションでは座長、演者7人のうち6人が女性であり、また、学会参加者にはダイバシティが感じられました。

さて、今回対面での人的交流がないため、学会前日にリモートによる social event を企画くださいました。招聘してくださいました英国病理学会の会長 Prof. Adrienne Flanagan (University College London), 次期会長 Prof. Mark Arends (University of Edinburgh), Prof. Heike Grabsch (Maastricht University Medical Center), Prof. Graeme Murray (University of Aberdeen Scotland) と、日本病理学会副理事長小田義直教授とで限られた時間ではありましたが、オンラインにて交流することができました。ちなみに会長の Prof. Flanagan も女性であり、骨軟部腫瘍が専門の病理医です。秘書の Miss Roselyn Pitts は、ロックダウン中はロンドンのオフィスには出勤せず通常業務も完全にリモートで行なっているとのこと、英国で手配した紅茶とクッキーが東京三鷹のサービス支所からあつという間に配送されてきて、びっくりです。報道などで聞いていた Zoom 飲み会、楽しいのかしら? と思っていましたが、どんな状況になっても、その時にできる手段で人々が交流する、とそこから

生まれるものは何かしらあるのだと思います。学会という学术交流の場が、今後も様々な工夫がなされて発展していくことを期待したいです。

2) ジュニア研究者 大島健司学術評議員 (大阪大学) 英国病理学会参加報告

大阪大学大学院医学系研究科 病態病理学
大島 健司

この度、2019年度日本病理学会学術奨励賞受賞者として2021年7月6日～8日に開催された英国病理学会 Manchester Pathology 2021) に派遣して頂きましたので、学会参加について報告致します。今回は virtual meeting であり、オンラインで参加することとなりました。

学会では、“Gastrointestinal のセッションで Serine racemase promotes colorectal cancer growth and is a new therapeutic target for colorectal cancer” と題する口演を行う機会を頂きました。中枢神経系でのみ機能が明らかにされていた D-, L-セリンの代謝酵素である Serine racemase が、大腸がんにおいて L-セリンからピルビン酸を産生する代謝経路を介してがん細胞の増殖を促進すること、そして治療標的になり得ることを示した研究です。

virtual meeting であったため、当日は座長による各発表者の紹介の後に事前に録画、送付していた口演動画が流され、全ての発表者の口演の後にライブ配信で Q & A を行うという形でセッションが行われました。発表に際しては、座長である Manchester 大学の Prof. Raymond McMahon と Leeds 大学の Prof. Phil Quirke にサポートして頂きました。また、発表の前日には Trainee Subcommittee の先生方が、30分程の welcome meeting を開いて下さりました。温かな雰囲気歓迎して下さい、翌日のセッションへの緊張が和らぎました。

参加したセッションや聴講した他のセッションにおいても、様々な国の参加者が発表しているのが印象的でした。現地開催で得られるような交流は出来なかったものの、このような国際的な学会で発表させて頂いたことは大変貴重な経験であり、今後の研究において非常に刺激を受けました。このような貴重な機会を与えて下さりました日本病理学会および英国病理学会の関係者の皆様方に、心から感謝申し上げます。

また、学会が開催される予定であった Manchester を今回は訪れることは出来ませんでした。welcome meeting で Trainee Subcommittee の先生方も Manchester はとても綺麗な街だと仰っていました。来年から英国にある The Institute of Cancer Research, London の腫瘍代謝研究室で日本学術振興会の海外特別研究員として研究する機会を得られましたので、また生活が落ち着いたら Manchester を訪れてみたいと思います。最後になりますが、病理学の中でもこれまで研究してきた腫瘍代謝学を一步ずつ究めていこうと思いますので、今後とも御指導、御鞭撻のほど何卒よろしくお願ひ申し上げます。

3) ジュニア研究者 山ノ井一裕 学術評議員 (慶應義塾大学)

英国病理学会派遣報告書

慶應義塾大学医学部病理学教室

山ノ井一裕

このたび、日本病理学会の日英交流事業の一環として、英国病理学会 Manchester pathology 2021: 6-8 July 2021 に参加させていただきました。2020年初頭に始まった、新型コロナウイルスの全世界的なパンデミックの遷延にて、昨年度の第32回 ESP Congress に引き続き、当学会もWeb開催となりました。例年とは異なるWeb開催での参加となり、国際交流委員会委員長の小田義直先生をはじめ、事務局のご担当の方々には、いろいろとご支援をいただきました。この場を借りて、厚く御礼申し上げます。

学会参加については、オンライン上での演題登録に引き続き、Web開催ならではの、事前に、Zoomを用いて、パワーポイントスライドを使ったビデオ録画を各自で行い、We Transfer というソフトを用いて、学会システムに録画画像を送りました。慣れない方法での画像送信にて、無事に送れたかどうかなどの不安がありましたが、送信した録画内容は先方で確認していただき、音声も十分に聞き取れないなどの不具合がある場合は教えていただき、再度の提出が可能でした。英語での音声録音に際しては、より一層、はっきり、ゆっくりと発音して録音する必要性を学ばせていただきました。

学会開始日直前には、英国病理学会より、チーズやワインの入ったギフトセットをお送りいただきました(右写真参照)。国内にいながらも、ほんの少し、異国気分を味わうことができた気がしました。

学会初日には、Dr. Solange より、Trainee などの若手病理医とのミーティングを開催いただき、大島先生と共に参加しました。Web参加となるため、学会で人的交流を持つのがなかなか難しい中、15分ほどではありましたが、Dr. Solange の計らいもあり、お互いの興味や、どのような仕事をしているかなど、お互いに気さくに話すことができ、初めての学会参加に際しての緊張を少し解いてくれるミーティングになりました。

学会2日目に、Oral Free Papers Gastrointestinal Pathology のセクションにおいて、諸臓器における、腫瘍細胞の産生する幽門腺型粘液の糖鎖修飾の消失と、悪性度の相関についての研究内容を発表いたしました。当日は、発表時間にZoomよりVirtual Roomにセクションの発表者全員が入室し、座長が各演者の紹介をした後で事前録画データが流され、最後に20-30分のQ&Aセッションを行うという流れで行われました。発表は、司会のProf. McMahon, Prof. Quirkeの進行にて進められ、大島先生と私の発表に際しては日本病理学会から選出された演者であること、国際交流の一環としての発表であることを含めてお伝えいただきました。Web開催のため、参加者からの活発な討論はなかなか難しい部分もありましたが、司会の先生からは、胃癌の発生母地として知られるヘリコバクターピロリ感染



と糖鎖修飾の関連についての質問をいただき、大変意義深い発表となりました。

Web上での学会参加による制約はありましたが、何より、移動することなく発表を聞くことができる点、興味ある発表は同時時間帯に開催されていても視聴することができる点、学会終了後も長くライブ動画を視聴できる点(10月まで視聴可能)など、Web開催ならではの利点も数多くあると考えられます。今回、学会での様々な人的交流や現地の文化を楽しむことはできませんでしたが、若手ミーティングへの招待など、英国病理学会の方々のできる限りの温かいおもてなしをいただけたことに、大変感謝しております。このパンデミックが終息し、自由に渡航できる時期になりましたら、ぜひ英国病理学会に再び参加し、今回できなかった交流を十分に果たせればとえております。

末筆になりますが、これまで研究を指導していただいた諸先生方、また、このような貴重な経験をさせていただいた日本病理学会、英国病理学会の諸先生方に、大変感謝いたします。

お知らせ

1. 基礎と実践から学ぶ『呼吸器画像診断の会』第4回セミナーのご案内

会期: 2021年12月11日(土) 9:30~16:40

開催形式: WEB開催

プログラム: 画像診断講座, 病理診断講座, 教育講演
「読影講座」, 教育セミナー

参照HP: <http://rdi.umin.jp/index.html>

2. 千里ライフサイエンスセミナーのご案内

日時: 2021年11月2日(火) 10:30~16:20

開催形式: WEB開催

参加費: 無料

定員: 500名(要事前申込)

プログラム:

『新興・再興ウイルス感染症に対する取り組み』

参照HP:

<http://www.senri-life.or.jp/seminar/seminar-1-20211102a.html>

3. 「第 63 回藤原賞」について

標記の件につきまして、詳細は下記ホームページをご確認ください。

参照 HP:

<http://www.fujizai.or.jp/>

問い合わせ先：公益財団法人藤原科学財団

4. 医学生物学電子顕微鏡技術学会主催「第 37 回学術講演会」と「第 19 回医学生物学電子顕微鏡シンポジウム」のご案内

第 37 回学術講演会

開催日時：2021 年 10 月 30 日（土）～ 31 日（日）

開催形式：Web 開催

参照 HP:

<http://emtech.jp/37thgakkai/index.html>

第 19 回医学生物学電子顕微鏡シンポジウム

開催日時：2021 年 10 月 31 日（日）13:00～16:10

開催形式：Web 開催

参照 HP:

<http://www.asahi-net.or.jp/~RU5Y-HTT/index.html/>